

今日の説教のポイント<マタイ福音書 15 章 29～16 章 4 節>

①すでに出た話で面白くない？ 否、マタイがそこに込めた意味は？

今日の3つの話は、ほぼ同じ話がすでに語られています（病人の癒し—4:23 以下、大勢の人に食べさせた話—14:13 以下、しるしをほしがる話—12:38 以下）。では飛ばしましょうか？ 否、こういう箇所です。著者マタイが伝えたいことが分かるのです。

②イザヤが予言していた通りのことが起こった！

マタイは、「群衆は、口の利けない人が話すようになり、体の不自由な人が治り、足の不自由な人が歩き、目の見えない人が見えるようになったのを見て驚き、イスラエルの神を賛美した」(31)と記していますが、これはイザヤの預言、「そのとき、見えない人の目が開き、聞こえない人の耳が開く。そのとき、歩けなかった人が鹿のように躍り上がる。口の利けなかった人が喜び歌う」（イザヤ書 35:5 - 6）を間違いなく下敷きにしています。「神が来て、あなたたちを救われる」（イザヤ書 35:4）ことがイエス様において起こったのだ、と伝えたかったのです！

③人への思いやりが深いイエス様。

「群衆がかわいそうだ。もう三日も私と一緒にいるのに、食べ物がない。空腹のまま解散させたくはない。途中で疲れ切ってしまうかもしれない」(32)。話はよく似ていても、この箇所では、マタイはイエス様のこの言葉に力を込め、分量を割いて記しています。マタイは、イエス様が人への思いやりで満ちていたことを伝えたかったのです！

④イエス様が救い主であるしるし、それはもう十分与えられている！

自然界の不思議にはよく気がつき、その現象を受け入れるのにやぶさかでない私たち人間です。しかし、神様が起こして下さった、私たちに大きな恵みをもたらすイエス様の不思議はなかなか受け入れられない私たち。信じて受け入れることができるためのしるしがまだ足りないのでしょうか？ いいえ、ニネベの人々もヨナの叫びを受け入れました（ヨナ書 3 章）。主が立ち去られない前に受け入れましょう。